
お 知 ら せ

宇宙飛行士候補者募集要項

1. 採用人員：宇宙飛行士候補者 1 名ないし 2 名
2. 職務内容：

(1) 宇宙飛行士候補者は、米国航空宇宙局 (NASA) が平成 4 年 7 月から開始するスペースシャトル搭乗運用技術者 (ミッションスペシャリスト: MS) の養成訓練に派遣されます。

約 1 年間の基礎的訓練の後、訓練結果をみて MS に認定され、スペースシャトルのシステム運用等の実施訓練及びミッション遂行のための訓練を経て、スペースシャトルに搭乗します。スペースシャトルに搭乗するのは少なくとも 1 名であり、搭乗できない場合もあります。搭乗する時期は、MS に認定されてから 4 年から 5 年後になります。

その後、引き続き宇宙ステーション搭乗員としての訓練を受け、1998 年以降に計画されている JEM の組立・検証等の任務に着く予定です。(JEM: Japanese Experiment Module 日本の実験モジュール)

- (2) 宇宙ステーション等への搭乗のほか宇宙ステーションの開発、宇宙環境利用等の開発業務に従事します。
- (3) 宇宙飛行士の訓練には、ジェット機を用いた無重力飛行、ウォータサバイバル等の訓練が含まれ、また、実際の宇宙飛行では無重力、宇宙放射線等の特殊な環境下での作業となります。
3. 応募条件：
 - (1) 日本国籍を有すること。
 - (2) 年齢 35 歳以下であること。(平成 3 年 3 月 31 日現在)
 - (3) 大学 (自然科学系) 卒業以上であること。
 - (4) 自然科学系の研究、設計、開発等に 3 年以上の実務経験を有すること。(平成 3 年 3 月 31 日現在/大学院在籍期間は実務経験とみなします。)
 - (5) 宇宙飛行士としての訓練活動、宇宙飛行活動等を円滑に実施することのできる能力 (英語、科学知識、技術等) を有すること。
 - (6) 宇宙飛行士としての訓練活動、宇宙飛行活動のために適した身体的心理的特性を有すること。

① 身体的特性

身長：149 cm 以上 193 cm 以下

血圧：最高血圧 140 mmHg 以下かつ最低血圧 90 mmHg 以下

視力：両眼とも裸眼 0.2 以上かつ矯正視力 1.0 以上

色神：正常

聴力：正常

その他心身ともに健康であり、共に宇宙飛行士としての業務に支障のないこと。

② 心理的特性

協調性、適応性、情緒安定性、意思力等国际的なチームの一員として長期間宇宙飛行士の業務に従事できる心理的特性を有すること。

- (7) 日本人の宇宙飛行士としてふさわしい教養を有すること。
- (8) 10 年以上宇宙開発事業団に勤務が可能であり、かつ、海外での勤務が長期間可能であること。
- (9) 所属機間 (又は、それに代わる機関) の推薦が得られること。
4. 応募手続：

住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入した用紙 (便せん等) 及び返信用の封筒 (角 2 型 縦 33 cm/横 24 cm 程度のものに返信先を記入し、250 円切手を貼付したもの) を同封のうえ「宇宙飛行士募集室」へ郵送してください。折り返し返信用の封筒にて応募書類用紙を送付します。
5. 受付期間：平成 3 年 7 月 1 日から平成 3 年 8 月 31 日まで (当日消印有効)
6. 応募書類用紙請求及び応募書類郵送先：

〒105 東京都港区浜松町 2-4-1

世界貿易センター内郵便局私書箱第 1 号

宇宙開発事業団 宇宙飛行士募集室

☎ 03-3453-7711/7712

東京大学理学部地球惑星物理学科の発足について

東京大学理学部地球物理学科 (Geophysical Institute, University of Tokyo), および地球物理学研究施設 (Geophysics Research Laboratory) は、地球物理学の新しい展開に対応するために、1991 年 4 月から改組され、統合した形で、新たに地球惑星物理学科 (Department of Earth and Planetary Physics) が発足した。

地球物理学科は 1941 年に、それまでの地震学科を引き継ぐ形で設立され、固体地球物理学・流体地球物理学・超高層物理学にわたる広範な分野の教育・研究にたずさわってきた。その後 1964 年に、同理学部内に地球物理学研究施設が設立され、超高層物理学に関する研究の中心は、この研究施設に移されたが、学部・大学院の教育に関しては両者が密接に連携してこれに従事してきた。しかし、最近における地球科学の拡大と変貌、惑星科学の新しい展開に対応して研究を行い、また惑星探査、人工衛星等による地球観測、大型数値モデルによるコンピュータ実験のような今までなかった分野の人材を養成するためには、旧学科と旧施設が、より密接に連携をはかる必要があり、それがすなわち今回の改組の目的であ

る。さしあたり、新学科は、旧学科の 5 講座と、旧施設の 3 部門が合併した形の 8 講座で出発することになった。しかし、発展しつつある地球惑星科学分野の研究・教育に対応するためには、講座の増設に加えて各分野の連携などについても一層の進展が必要とされよう。

平成 3 年 5 月

東京大学理学部地球惑星物理学科

〒113 東京都文京区弥生 2-11-16

東北大学天文学教室教官公募

公募人員：助教 1 名

専門分野：天文学

着任時期：決定後なるべく早い時期

提出書類：(1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 論文リスト、(4)

主要論文別刷り

締切：1991 年 9 月 30 日 (月) 必着

送付宛先：〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉

東北大学理学部天文学教室 竹内 峯

(封筒に応募書類と朱書きして、簡易書留でお送り下さい)

問い合わせ先：竹内 峯

電話：022-222-1800 内線 3321

福岡教育大学理科講座教官公募

公募人員：助教又は講師 1 名

所属講座：理科講座 (将来は、科学教育情報講座に移籍して頂く予定)

専門分野：情報科学 (情報理論、ソフトウェア、ハードウェア)

担当科目 (予定)：情報科学概論、情報科学特論、コンピュータ概論、コンピュータ実習等

応募資格：平成 4 年 4 月 1 日現在 50 歳以下で、大学院修士課程を修了した者又はこれに準ずる者

採用予定日：平成 4 年 4 月 1 日

提出書類：① 履歴書、業績書 (所定の用紙あり)

② 論文別刷、学会発表のプログラム等 (コピー可)

③ 健康診断書 (所定の用紙あり)

④ 最終学校卒業証明書

⑤ 住民基本台帳記録証明書 (所定の用紙あり)

⑥ 現在までの研究概要

(所定の用紙については下記問合せ先 ① までご請求下さい。)

公募締切：平成 3 年 9 月 30 日 (月曜日) 必着

送付先：〒811-41 福岡県宗像市赤間 729 番地

福岡教育大学長宛

問合せ先：① 〒811-41 福岡県宗像市赤間 729 番地

福岡教育大学庶務課人事第一係

TEL 0940-32-2381 内線 207

② 同大学理科主任 木村 出

TEL 同 内線 366

その他：封筒の表に「理科教官公募」と記入して下さい。

1991 年度「朝日賞」候補者推薦について

朝日新聞社より本会あてに受賞候補者の推薦依頼がきております。特に要項はありませんが、フレッシュな候補者を歓迎しております。

天文学会では締切りに間に合わせるために 8 月中に候補者を選定する予定ですので、是非と思われる方がおられましたら、日本天文学会までご連絡下さい。

平成 3 年度 (第 8 回) 井上學術賞候補者募集について
井上科学振興財団より本会あて下記要項で推薦依頼がありました。希望者は庶務理事までご連絡下さい。
(学会締切りは 9 月 5 日 (木))

1. 候補者の対象

自然科学の基礎的研究で業績が特に顕著なもの。ただし、研究者の年齢が平成 3 年 9 月 20 日現在で満 50 歳未満のものに限る。

2. 賞

賞状及び副賞 200 万円、受賞者は原則として 1 件について一人とします。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示して下さい。

3. 学会からの推薦件数は 1 件です。

4. 贈呈期日は平成 4 年 2 月 4 日 (火) の予定。

第 32 回 (平成 3 年度) 東レ科学技術賞および研究助成候補者募集

上記について東レ科学振興会より本会あて推薦依頼が来ています。希望者は、学会庶務理事までご連絡下さい。(学会推薦の締切りは共に 9 月 25 日です) 募集の要項はつぎのとおりです。

科学技術賞……(1) 学術上の業績が顕著なもの

(2) 学術上重要な発見をしたもの

(3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの

(4) 技術上重要な問題を解決して技術の進歩に大きく貢献したものの

賞内容……金メダル及び賞金 300 万円。

研究助成金……科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩・発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者、またはそのグループに対し総額 1 億円前後、10 件程度。但しとくに重要と認められる研究については、3,000 万円程度まで助成が考慮されます。

贈呈期日は双方とも平成 4 年 3 月の予定。